

令和7年度 計画変更

土地改良事業計画書

県営ほ場整備事業

地区名 内山地区

所在地 神奈川県南足柄市内山

事業主体 神奈川県

第1篇

第1章 目 的

本地区は、南足柄市の山間農業地域に位置する内山地内で、水田を主とした農業が展開されている。

本地区のほ場は未整備であり、区画形状は小さく不整形、用排兼用の用排水系統、狭小な道路等、営農条件を阻害する要因が多い。

このため、機械化による営農効率の向上が図れない農地がある。近年急速に進行している高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の今後一層の増大が懸念される。

よって、効率的な営農を行うための条件整備が急務であり、本事業により生産基盤の整備と農地の集積を行い限られた農地の有効活用を図り、それによって生産性の向上と農業経営の安定、地域農業の維持・向上を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

事業名	地 域
県営ほ場整備事業	南足柄市内山

第2節 地 積

現況地目 地 区 名	田	畑	小 計	そ の 他	計	備 考
南足柄市内山	19.3 ha	0.7 ha	20.0 ha	4.2 ha	24.2 ha	
計	19.3	0.7	20.0	4.2	24.2	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

(1) 一般気象

観測所名	小田原観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観測期間	H9年～R1年	月～ 月	月～ 月	又は平均	
平均気温(℃)	—	—	—	15.3	平年値
降水量	平均(mm)			2,020	平年値
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)				
	基準年(日)				
根雪期間	月 日～ 月 日			日間	
無霜期間	月 日～ 月 日			日間	
最多風向	南南東	最大風速	16.3	m/s	発生時期 月～ 月 発生年月日 平成23年9月8日

第3節 用水状況

第1項 用水系統及び用水施設

(1) 現況用水系統

(2) 用水施設

(イ) 用水施設総括表

項 目 用水施設名		個所数			計	水利権	延べ取水量	備 考
		20ha以上	10～20ha	10ha未満				
自然	取水堰			7	7		m ³ /s 7.72	
	水門							
機 械	用水機							
	水門及び用水機							
計								

(ロ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

項 目		箇所数	構 造	規 模	新 設 又 は 更 新 年 月 日	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
施 設 名		(延 長)					
自 然	用水路			m			
	取水堰						
機 械	用水機						
	水門及び用水機						
計							

第2項 用水に関する被害状況
該当なし。

第3項 用水慣行
該当なし

第4節 排水状況
該当なし

第5節 道路状況

第1項 道路体系

第2項 道路路線一覧表

項目 路線名	種別	延長	全幅員 (有効幅員)	構造	最急 コウ配	改修の要否	接続主要路線名	備考
矢倉沢山北線	県道	4,800 ^m	^m	アスファルト	%	否		

第3項 主要構造物 なし

項目 路線名	名称	規模構造	延長	箇所数	改修の要否	備考

第6節 営農状況

第1項 専兼別農家数及び平均経営耕地面積

南足柄市

専 兼 別	種目 戸数	専業	第一種兼業	第二種兼業	計	一経営 戸耕 当地 平均積	田	普通畑	果樹園	計	地域指定等
	戸数	138 戸	22 戸	341 戸	501 戸		0.3 ha	0.2 ha	0.4 ha	0.9 ha	農振
	割合	28 %	4 %	68 %	100 %		29 %	14 %	57 %	100 %	

第2項 主要作物生産状況

(平成27年 農林業センサス)

市町村名		南足柄市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積		656 ha		ha		ha		ha			
区分		作付面積	10a当りの 収量	作付面積	10a当りの 収量	作付面積	10a当りの 収量	作付面積	単位面積 当りの収量		
作物名											
田	食用	207						207			
	その他	4						4			
畑	普通作物	62						62			
	飼料作物										
樹園地	全体	171						171			
計		444						444			
市町村別延作付率		67.6	%		%		%		%		

第3項 機械装備及び家畜飼育状況
 南足柄市 (平成27年 農林業センサス)

区分	機 械				畜			
	トラクター	動力防除機	動力田植機	コンバイン	役肉牛		肉 豚	
	所有者数	所有者数	所有台数	所有台数	頭数	飼育農家数	頭数	飼育農家数
現況	279 戸	— 戸	233 戸	155 戸	— 頭	— 戸	— 頭	— 戸

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

第1項 要旨

本地区のほ場は未整備であり、区画形状は小さく不整形、用排兼用の用排水系統、狭小な道路等、営農条件を阻害する要因が多い。

このため、機械化による営農効率の向上が図れない農地がある。近年急速に進行している高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の今後一層の増大が懸念される。

よって、効率的な営農を行うための条件整備が急務であり、本事業により生産基盤の整備と農地の集積を行い限られた農地の有効活用を図り、それによって生産性の向上と農業経営の安定、地域農業の維持・向上を図るものである。

第2節 営農計画及び土地利用計画

第1項 営農計画の概要

本地区の耕作地帯は、水田地帯である。用排水路及び農道整備を行うことで、生産性の向上を図り、農地の集積、耕作放棄地の生産区域への再生を図る。

第2項 土地利用区分

作物名	水田	普通畑	樹園地	山林原野	その他	計	土地利用率
水稻	15.9 ha	ha	ha	ha	ha	15.9 ha	90%
たまねぎ	ha	1.8 ha	ha	ha	ha	1.8 ha	10%

第3項 計画作付体系

(第3表)

地 目		田					普 通 畑					樹 園 地					合 計				
時 点		現 況		計 画		増 減	現 況		計 画		増 減	現 況		計 画		増 減	現 況		計 画		増 減
本 地 面 積		18.1ha		15.4ha		△2.7ha	0.7ha		1.8ha		1ha	- ha		- ha		- ha	18.8ha		17.2ha		△1.7ha
表 裏	作 物 名	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付	作付
		面積	率	面積	率	面積	面積	率	面積	率	面積	面積	率	面積	率	面積	面積	率	面積	率	面積
表	水稻	ha	%	ha	%	ha	ha	%	ha	%	ha	ha	%	ha	%	ha	ha	%	ha	%	ha
		18.1	100.0	15.4	100.0	△ 2.7						-	-	-	-	-	18.1	96.1	15.4	89.8	△2.7
	たまねぎ						0.7	100.0	1.8	100.0	1.0						0.7	3.7	1.8	10.5	1.0
裏	キャベツ			2.3	15.0	2.3											-	-	2.3	15.0	2.3
	たまねぎ			2.3	15.0	2.3											-	-	2.3	15.0	2.3
	合 計	18.1	100.0	20.0	130.0	1.9	0.7	100.0	1.8	100.0	1	-	-	-	-	-	18.8	99.8	21.8	130.0	2.9

第4項 用水対策
 (1) 用水路

名称	項目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
	県営ほ場整備事業					
用水路		15.9	0.056	—	ベンチフリューム300~450	

第4節 排水計画

第1項 計画諸元

(1) 基準雨量

- ①観測所名 小田原観測所及
- ②観測期間 昭和51年~平成21年
- ③確率雨量 10年確率雨量= 190.5mm/day
 2年確率雨量= 130.5mm/day

(2) 排水方式
 自然流下

(3) 単位排水量

$$\begin{aligned}
 Q &= 1/3.6 * \gamma * f * A & A &= 100\text{ha} & f &= 0.45 \\
 &= 1/3.6 * 60 * 0.45 * 0.01 \\
 &= 0.02551 \quad (\text{m}^3/\text{s}/\text{ha})
 \end{aligned}$$

第3項 排水対策
 (1) 排水路

項目 名称	流域 面積	受益 面積	排水能力	延長	構造	排水本川		備考
						名称	計画外水位	
地区内排水路	85.6 ha	24.2 ha	4.49 m ³ /s	m	排水フリューム300～600	内川	m	

第5節 道路及び索道整備計画

第1項 道路配置
 路線一覧表

路線名	種類	延長	幅員		接続主要路線名	備考
			全幅員	有効幅員		
支線農道	農道	3,800m	4.5 m	3.5 m		

第2項 道路及び索道配置模式図

第6節 農用地整備計画

1. 区画整理

区画整理計画面積は24.2ha(受益面積17.7ha)である。

(1) 区画の形状

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	標高差 (m)	備考
100×30	0.30	17.7	100	—	
計		17.7			

第3節 道路及び索道

第1項 道路

(1) 道路路線総括表

項目 路線名	種別	全幅*延長		構造	付帯構造物			最急 勾配	同左の 延長	最小曲線 半径	備考
					名称	構造	数量				
支線農道	農道	4.5 ^m	3.8 ^{km}	砂利舗装				%	m	m	

(2) 道路主要構造物 該当なし

項目 路線名	名称	規模構造	延長	箇所数	備考
			m		

第4節 農用地造成計画

(1) 区画整理

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
内山	17.7	30a	—			
計	17.7	—	—	—	—	

第6章 付帯工事計画

なし

第7章 工 期

着 手 平成 27 年度

完了予定 令和 5 年度

第8章 事 業 費

一金 829,000,000 円也

事業費 円
運営事務費 円

第9章 効 用

(第1表)

区 分	算 式	内山地区	備 考
総費用（現在価値化）	③=①+②	700,110 千円	
当該事業による費用	①	692,368 千円	
その他費用（関連事業費+資産価額+再整備費）	②	7,742 千円	
年償還額	④	1,427 千円/年	
うち機能向上分	④'	1,261 千円/年	整地工分を計上
年総効果（便益）額	⑤	37,900 千円/年	
現況年総農業所得額	⑥	14,972 千円/年	
年総増加農業所得額	⑦	28,907 千円/年	
評価期間（当該事業の工事期間+40年）		49 年	
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	928,208 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	1.32	≧1.0
総所得償還率	⑩=④÷⑥	9.5 %	≦20%
増加所得償還率	⑪=④'÷⑦	4.3 %	≦40%

第10章 関連する事業
該当なし

第11章 計画図面

別添

- 事業実施計画図（変更前・変更後）
- 現況計画平面図（変更前・変更後）
- 非農用地説明図（変更前・変更後）

第2編

第1章 事業概要表

(1) 事業の概要

位 置	南 足 柄 市	内 山 地 区
総 地 積	24.2	ha (町)
事業施工後耕地地積	24.2	ha (町)
総 事 業 費	829,000,000	円 (円)
10 a 当り事業費	3,425,620	円
t 当り事業費		

予 定 工 事 期 間	自 平成 27 年度	至 令和 5 年度
-------------	------------	-----------

第3章 事業費、事業量の年度割予定

第4章 資金計画

区分		金額	摘要
国家資金		455,950,000 円	
自己資金		—	
内訳	借入金	—	
	地元徴達	7,560,000 円	
県資金		248,700,000 円	
市資金		116,790,000 円	
計		829,000,000 円	

第5章 機械及び労務計画
 第1節 資材及び労務者調書

区分	種 別	数 量	単 価	金 額	備 考
資	普通鋼材		円	円	
	鉄鋼二次製品				
	銑 鉄				
	電 気 鋼				
	小 計				
材	セメント				
	木 材				
	燃 料				
	計				

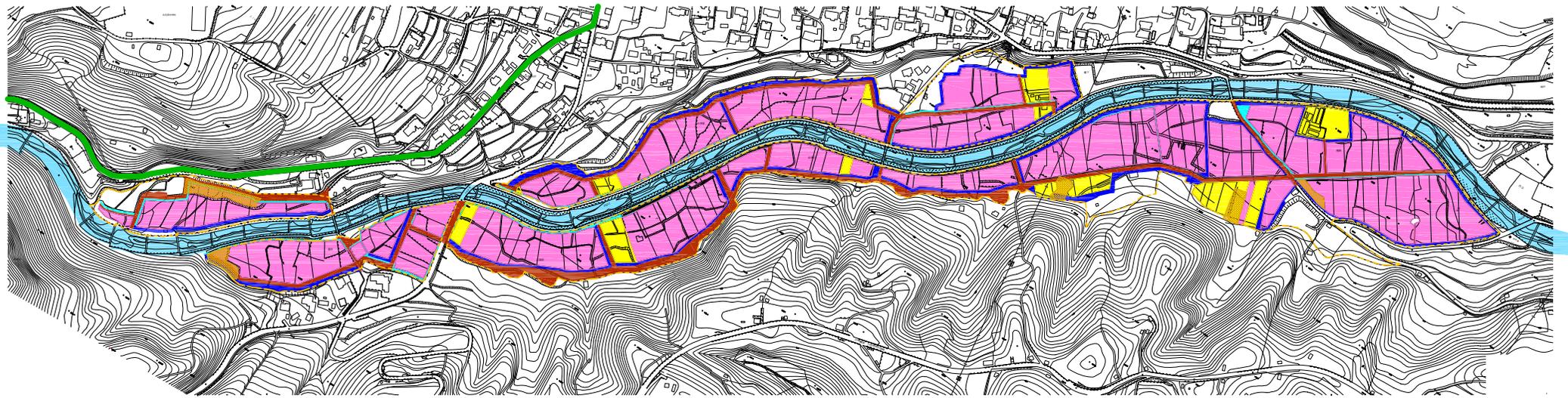
区分	種 別	数 量	単 価	金 額	備 考
機 械 類	ポ ン プ		円	円	
	モ ー タ ー				
	ト ラ ク タ ー				
	ブ ル ド ー ザ ー				
	ト ラ ッ ク				
	計				
労 務	熟 練 者				
	非 熟 練 者				
	特 殊 工				
	計				
合 計					

県営ほ場整備事業 内山地区
事業実施計画図

S=1:3,000



変更後



凡 例

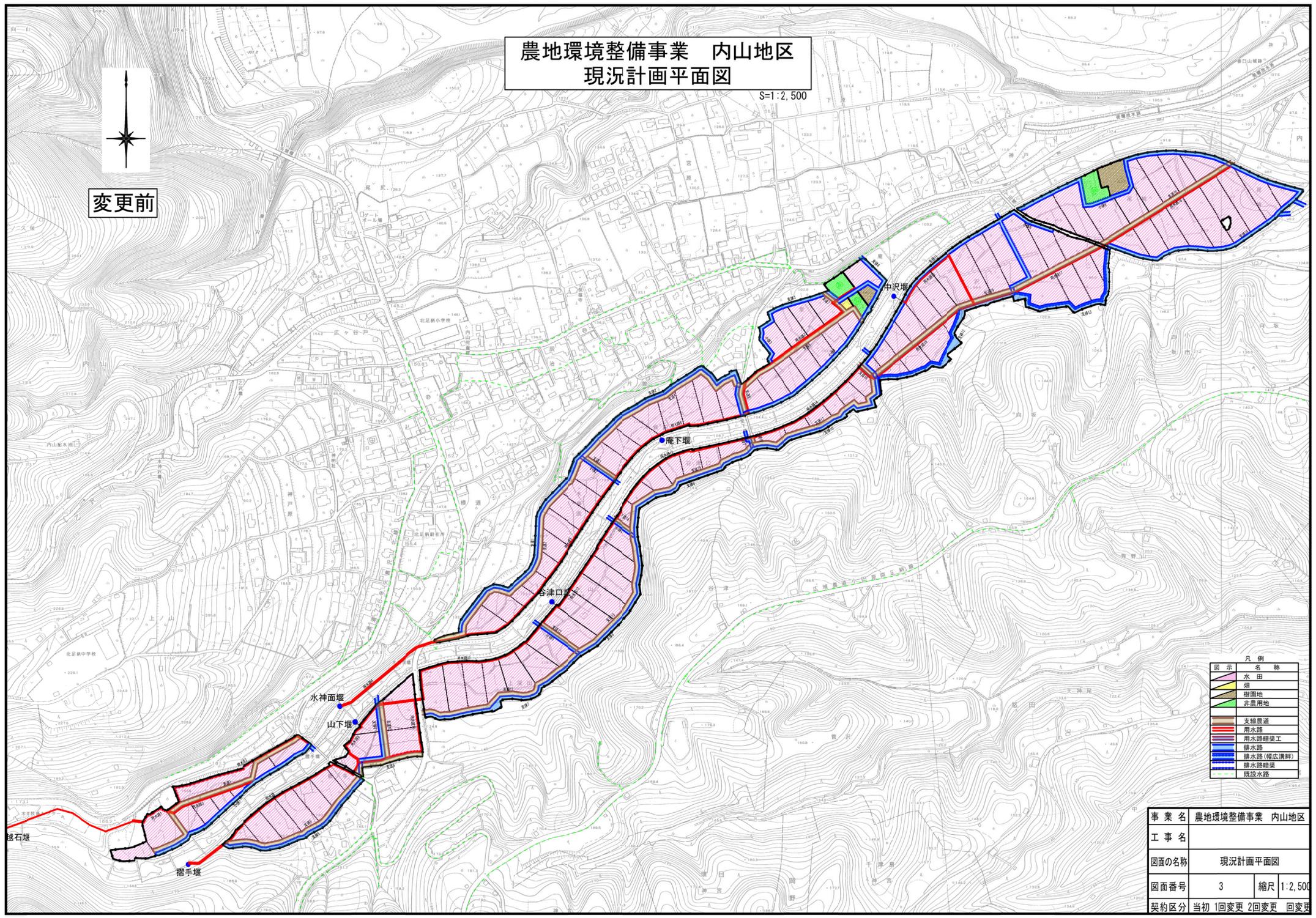
区分	図 示	名 称
記		県道
号		河川
		農振区域
受		水田
益		畑
		樹園地
地		非農用地
		耕作放棄地
整		区画整理
備		農道
計		用水路
画		排水路

農地環境整備事業 内山地区 現況計画平面図

S=1:2,500



変更前



凡例	
図示	名称
	水田
	雑
	樹園地
	非農用地
	支線農道
	用水路
	用水路暗渠工
	排水路
	排水路(幅広溝)
	排水路暗渠
	既設水路

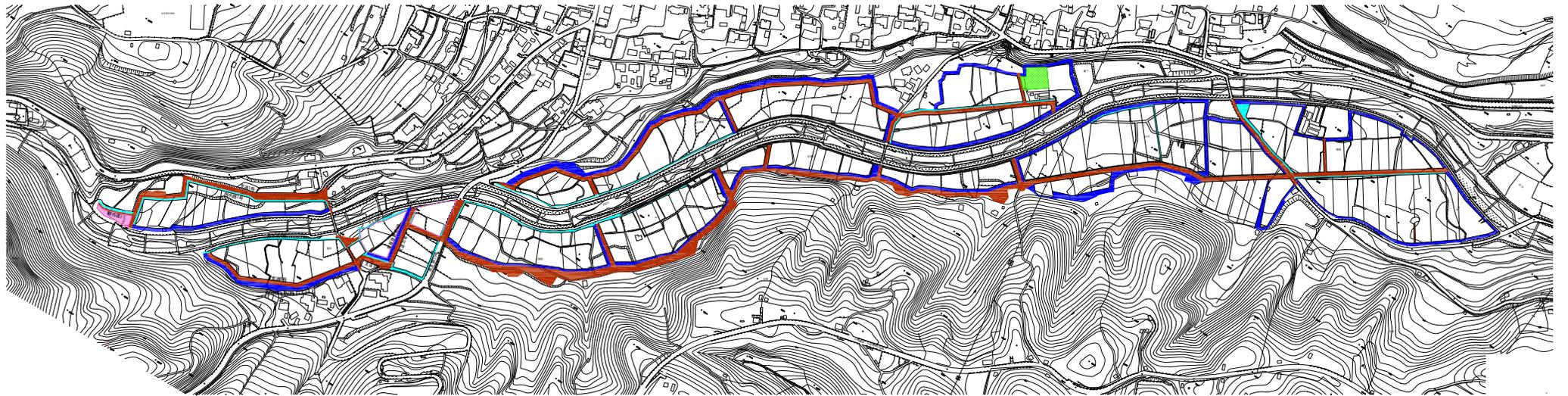
事業名	農地環境整備事業 内山地区	
工事名		
図面の名称	現況計画平面図	
図面番号	3	縮尺 1:2,500
契約区分	当初	1回変更 2回変更 回変更

県営ほ場整備事業 内山地区
現況計画平面図

S=1:3,000



変更後



凡 例	
図 示	名 称
	水 田
	畑
	樹園地
	農 道
	用水路
	排水路

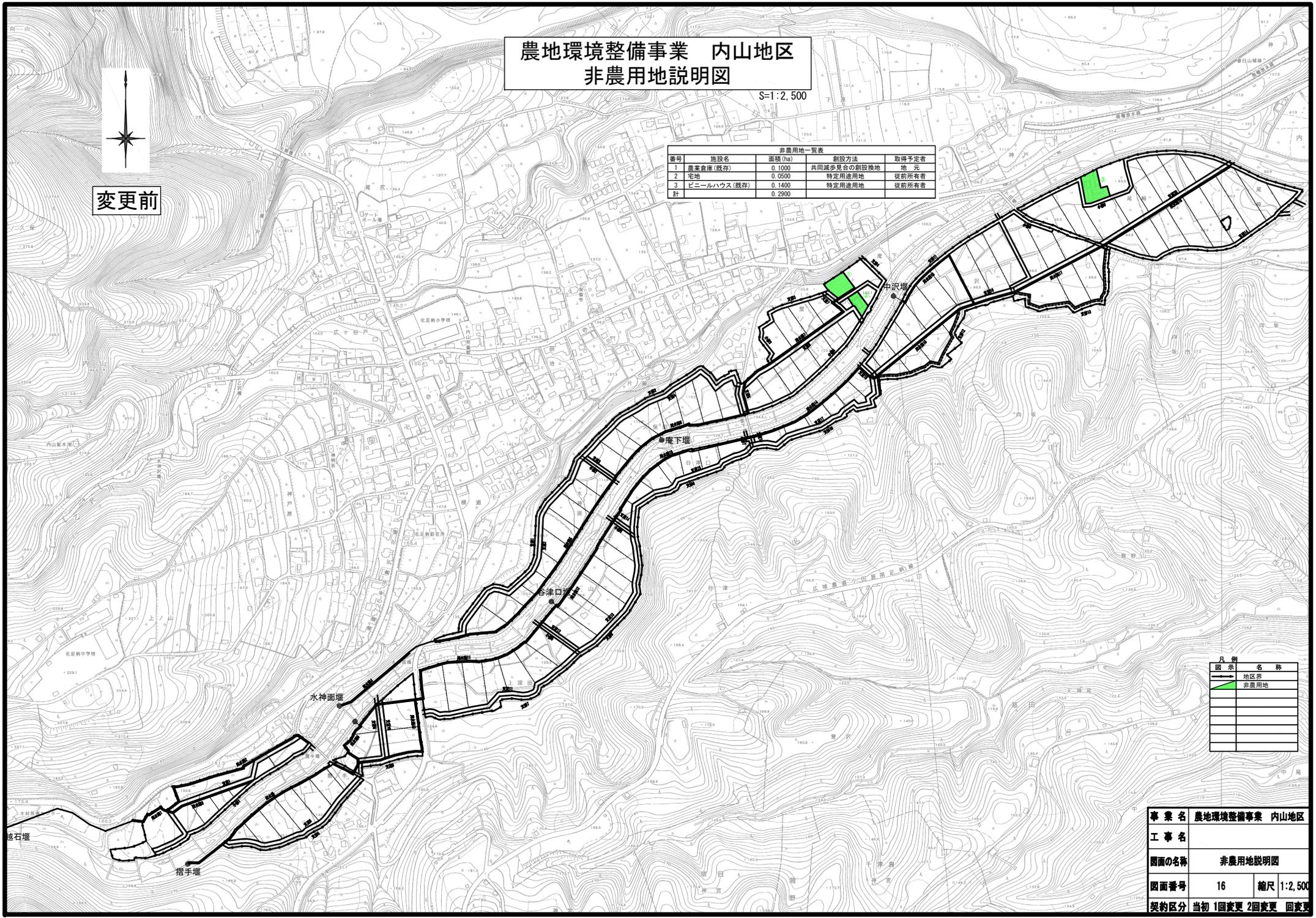
農地環境整備事業 内山地区 非農用地説明図

S=1:2,500



変更前

非農用地一覧表			
番号	施設名	面積 (ha)	創設方法
1	農業倉庫(既存)	0.1000	共同減歩見合の創設換地
2	宅地	0.0500	特定用途用地
3	ビニールハウス(既存)	0.1400	特定用途用地
計		0.2900	



凡例	名称
	地区界
	非農用地

事業名	農地環境整備事業 内山地区		
工事名	非農用地説明図		
図面の名称	非農用地説明図		
図面番号	16	縮尺	1:2,500
契約区分	当初 1回変更 2回変更 回変更		

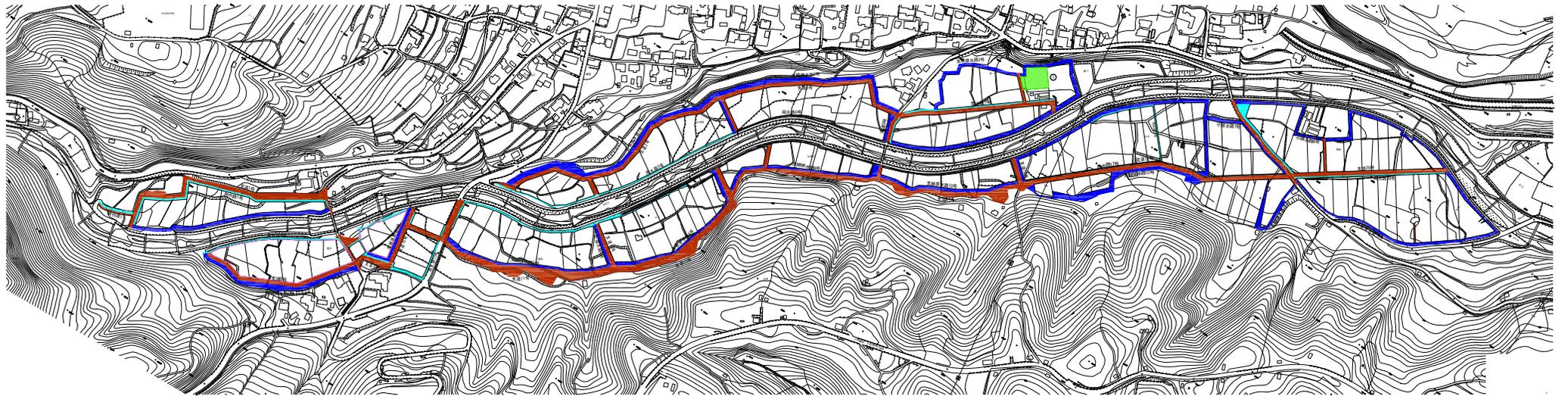
県営ほ場整備事業 内山地区 非農用地説明図

S=1:3,000



変更後

非農用地一覧表			
番号	施設名	面積 (ha)	施設方法
1	農家倉庫(既存)	0.1000	農地転入に上り禁止
計		0.1000	



凡 例	
図 示	名 称
	非農用地(廃止)
	農 道
	用水路
	排水路